

身体へのまなざし

ほんとうの看護学のために

阿保 順子 [著]

こころとからだ、あるいは主観と客観の二分法は科学のための便法に過ぎない。現に存在するのは心身一如たる身体なのである。その身体を離れて実践はあり得るだろうか。臨床は身体的な営みの場である。人の奥深さ、身体の不思議・・・看護の神髄にふれる思索の集成。



四六判（上製）169頁

定価（本体2,500円+税）

ISBN978-4-902630-24-4

【目次紹介】

はじめに 身体という言葉 第1章 身体 からだでもなく、こころでもなく 1. 日々の暮らしの中で●科学が説明してくれないこと●デジャ・ビュ de ja vu●「えもいわれぬ」感覚●読書の醍醐味●当たり前が当たり前でなくなる時 2. 病気体験のさなかに●コントロールが及ばない体に恐怖する身体●ケアする手は身体の境界をこえる●希望をもたらす言葉 3. 自分とは？ 私が私であることの不思議●じっと手をみる●解離 4. 患者さんの自殺にまつわる体験●予兆●「事後」にしかわからないこと●徴候・予兆と予知とのあいだ 第2章 身体の底をみる 重度認知症患者の行動観察をとおして 1. 原初的身體●言葉と身体●「さわる」行動の意味●感動する身体●相互依存的な身体 2. 身体の所有 自分の体を自分のものと感じとること●ヒトから人間になる—自己の成立●自分から離れてしまう身体* 自他の区別がつかない* 一体感の喪失 3. 還っていく身体 身体の内閉化●見当識障害の進行—発達過程の逆をたどる* 過去に覆われていく会話* 発達の初期段階に還っていく言葉●自己接触行動 4. 徘徊の理由●なぜ歩きはじめたのか●未知なる世界の入口に立つ不安と恐怖●還るべき場所 第3章 身体の変容 精神病を患う人々が経験している身体 1. 看護師の実践を導く患者理解を求めて 2. 自他を区別する境界線 自己が存在するための絶対条件●ほどよい自我◆自我●脆弱な自我●統合失調症急性期の人々の精神構造◆ホメオスターシスの崩壊 3. 自己が霧散してしまった身体●患者が語る発病時の身体●自分と周囲環境が逆転する●感覚の異常●時間が「乗っ取られる」●急性期を経過すると 4. 未分化な身体への逆行●孵化する前の状態 5. 統合失調症急性期の看護●保護膜という考え方* 外側に保護膜を張る* 保護膜をはぎ取らない* 保護膜が張られていくことを妨げない 第4章 看護技術と身体 1. 相互浸透する身体●清拭する手の力●能動と受動の反転 2. 看護技術と看護師の実践●技術はどのように発揮されるのか●適用の背後にあるもの 3. 看護手順●作法の意味●順番のみの教育●かつて、看護技術には思想があった* 国分アイのナーシングアート* 大関 和の実地看護法●非侵襲的に接近し、非侵襲的に触れる●気づかい 4. 実習の意味 5. 技術の修得●反復 第5章 関係としての身体 身体の上層性、全体性、現場性 1. 身体の上層性●意識的身体—身体の表層●オノマトペ的身体—身体の中層●「領域」としての身体●病気における身体の異変●「触れる」ということ●時間の拡張—現在として続く過去●原初的身體—身体の基底層 2. 身体の形成 歴史が刻まれていく身体●発生●発達—意識される身体* 社会によって、時代によって変容する身体●「こころ」と「からだ」に分かれた身体—身体の再所有●老いの進行と身体—還っていく身体●見方を変えると見えてくること 3. 間身体的な現象 4. 身体の全体性* 階層構造の理解の仕方●看護技術の全体性 5. 見えるということの関係性 6. 身体の現場性 第6章 身体の理論と看護学 1. 身体論的な見方とは●看護理論における身体論の不在●なぜ身体現象に目を向けるのか 2. さまざまな身体論●人間とは何かという問い 3. 高度な看護実践能力を身につけるために●専門看護師にみる実践力●CNS教育と看護学●臨床で発揮されている看護師の実力 第7章 身体の生成、認識、つながり（インタビュー） 三浦雅士 聞き手：阿保順子

著者：あぼじゅんこ（長野県看護大学名誉教授）（2015.7）

★書店でお買い求めください。専門書店以外では棚にない場合が多いと思いますが、お取り寄せは必ず可能です。

★直接注文も承ります。郵便、FAX、電話、Eメール chumon@spica-op.jp 等でお申し付けください。ホームページでもご案内しています <http://www.spica-op.jp>（送料：200円、2冊以上同時注文は無料）

裏面を注文票としてご利用ください。

【注文票】 *書店を通される場合にも本票を利用されると確実です。ご利用の書店にお渡しください。

すぴか書房 宛 FAX 048-464-8336

書名	阿保順子 著 身体へのまなざし ほんとうの看護学のために 定価 (本体 2,500 円+税)	冊 注文します	
	発行所 すぴか書房 〒351-0114 和光市本町 2-6 レインボープラザ 602 TEL 048-464-8364 chumon@spica-op.jp		
お客様 (お届け先)	ご住所 〒		
	フリガナ お名前	電話 FAX	メール:

【備考欄】

* 小社へのメッセージ、出版活動へのご意見・ご希望などの通信欄として自由にお使いください。また、関心のあるテーマについてお聞かせいただけましたら幸甚に存じます。